

成果の説明書

(氏名) 長野 博一	(学部) 地域政策学部
1 重要事項 (1) 教育活動 ・担当講義は、初年次ゼミ、都市政策論、都市再開発論、都市計画学、都市経営論、地域政策を学ぶ（リレー講義）、演習。 ・講義科目では講義資料等を Teams から提供し、各回で Teams から課すリアクションペーパーとその評価は次回講義前にフィードバックした。また良い視点が記載されたリアクションペーパーは講義中の解説時に紹介し、教員の私見と共に受講生へ共有した。 ・演習では、課外活動の一環で、フィールドワークを複数回実施した。 ・・・・福島市のバリアフリー基本構想における市民参加による街歩き点検 ・・・・須坂市の伝建地区の視察 ・・・・大宮駅周辺再開発エリアの視察など ・高校からの連携として、兵庫県立神戸商業高等学校の生徒さんとコンパクトシティとまちづくりに関する議論を行い、群馬県立高崎北高等学校の生徒さんと地域デザインに関する論点を議論した。（7月・8月） (2) 研究活動 ①招待論文 ・長野博一，工藤進：GISによる道路管理の運用に関する考察，共著，2023年10月，雑誌鋪装：2023年10月号，DXによる生産性向上の取組み 特集号，pp7～12 ②学会発表 ・梶谷滄和，児玉一郎，長野博一：温泉街と対象としたバリアフリー基本構想の策定と事業推進の取組み，共同，2023年6月5日，第5回土木技術者実践論文集研究発表大会 ③科研費C採択研究（代表者） ・欧州調査研究9月（仏・英・独） ・バリアフリーマップの現状と課題に関するレビュー ・バリアフリー基本構想策定自治体が抱える課題の整理（調査を実施） ・国土交通省総合政策局バリアフリー政策課と連携した取り組み ・ほか (3) 社会活動 ①セミナー等・講師、基調講演など ・心のバリアフリー施策の可視化に必要なUXデザイン（令和5年度「心のバリアフリー推進のためのモデル検討調査事業」成果報告会（株）サンビーム・国土交通省総合政策局バリアフリー政策課 基調講演）2024年3月13日 ・地区の特性を活かしたまちづくりの手順～市民参加のデザイン手法から考える（越谷市役所・大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会 基調講演）2024年2月17日 ・自治体のバリアフリー政策を充実させる BF マスタープランと基本構想の役割（国土交通省関東運輸局「移動等円滑化促進方針・基本構想策定支援セミナー」基調講演）2024年1月22日 ・土地問題・私道問題を都市政策から考える（群馬司法書士会・研修会 基調講演）2023年11月11日	

・地域に合った移動の仕組みづくりと健康まちづくり（第 5 回日本在宅医療連合学会大会「私たちのまちづくり ゲストパネリスト」）2023 年 6 月 24 日 ・国土交通大学校専門課程「バリアフリー研修」講師，2023 年 7 月 ・(株)パスコ 技術者研修 講師 2023 年 10 月・12 月 ・ほか ②審議会等委員 ・国土交通省関東運輸局 バリアフリープロモーター ・群馬県 景観審議会 委員 ・大島町（東京都）地域公共交通活性化協議会 委員 ・安中市 都市計画審議会 会長 ・安中市 都市計画マスタープラン策定委員会及び立地適正化計画策定委員会 委員長 ・安中市 磯部温泉地区バリアフリー基本構想等検討協議会 会長 ・安中市 総合計画審議会 委員 ・福島市 バリアフリー基本構想分科会 会長 ・越谷市 保健衛生審議会 委員 ・越谷市 大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会 アドバイザー ・調布市 公共交通活性化協議会 副会長 ・福島市 地域公共交通活性化協議会 委員 ・熊谷市 スマートシティ懇談会 アドバイザー ・ほか ③学会活動 ・日本福祉のまちづくり学会 市民参加のデザイン特別研究委員会 委員長 ・日本福祉のまちづくり学会 学術研究委員会 委員 ・日本福祉のまちづくり学会 地域福祉モビリティのデザイン特別研究委員会 委員 ・日本地域政策学会 編集委員 ・ほか	2 その他の事項 ・自治体との連携研究や企業との共同研究などを進める ・学際的な学会との連携を図り、分野横断的な研究を進める ・ほか
3 次年度以降の計画・抱負 （1）教育活動 ・大学院教育の充実を図る 大学院地域政策研究科における都市計画特論及び都市計画特論演習にて、実務者教員としての利点を生かした講義、演習を展開したい。 （2）研究活動 ・科研（代表者）研究の充実を図る ・企業との共同研究を進める ・地域連携を積極的に図る （3）社会活動 ・行政機関からの各種審議会等への参画を通じ、地域課題解決へ貢献したい ・自治体との連携事業など、地域課題解決へ向けた研究活動との連動を図り、学生の教育啓発へ繋げる	